

# 池田市消防本部 訓練マニュアル



## 消防訓練をやってみよう！



### 1. 火災の覚知

※出火箇所を設定しましょう。

- ・発信機を押す等の方法で自動火災報知設備を作動させ、ベルを鳴らす。（約10秒間）
- ・ベルを鳴らさない場合は、防火管理者やリーダーの「訓練開始」合図で、ベルが鳴ったものとする。

### 2. 現場確認

※近くにある消火器を持っていきましょう。

- ・自動火災報知設備の受信機と警戒区域図で出火場所を確認し、火災かどうか確認に向かう。
- ・火災を発見すれば、「火事だー！火事だー！」と周囲に知らせる。  
（非常ベルがある場合はボタンを押す）
- ・関係者や居住者に状況を知らせ、119番通報を行う。

### 3. 通報

※火災通報装置がある場合は、使用方法を確認しましょう。

- ・訓練で119番通報をする場合は事前に連絡する。

**北大阪消防指令センター：06-6155-5119**

### 模擬119番通報例

消防「119番消防です。火事ですか？救急ですか？」

通報者「火事です。ストーブの火がカーテンに燃え移りました。」

消防「住所を教えてください。」

通報者「池田市八王寺1丁目〇番〇号、〇〇の建物の3階から火が出ています。」

消防「逃げ遅れやけが人はいますか？初期消火と避難誘導の状況は？」

通報者「逃げ遅れはいません。初期消火に失敗しましたので、避難誘導を行っています。」

消防「あなたのお名前、電話番号を教えてください。」

通報者「〇〇です。電話番号は090、、、です。」

## 4. 初期消火

※消火器・屋内消火栓等の訓練をしましょう。



## 5. 避難誘導

※放送設備や拡声器がある場合は、活用しましょう。

- ・大きな声で居住者や利用者等に火災を知らせる。
- ・火災場所を避け、煙等の被害が少ない避難経路に誘導する。
- ・居住者や利用者等を安全な場所まで誘導を行い、状況を確認する。



## 6. 情報提供

※現場に到着した消防隊に情報を伝えましょう。

- ・避難者や負傷者、逃げ遅れの状況（人数・負傷程度など）
- ・初期消火の状況や出火箇所、危険物の有無。

## 7. 振り返り

※訓練のフィードバック（反省等）を行いましょう。

- ・訓練で良かった点や失敗したことを話し合い、次の訓練に活かす。

## 8. 消防用設備等の確認

- ・使用した設備を元に戻し、異常がないことを確認する。

## 9. その他

- ・訓練の記録を消防訓練記録表に記載しましょう。
- ・福祉施設など夜間に営業を行っている事業所は、夜間を想定した訓練も行いましょう。